



平成30年度 下水道事業会計の 決算状況

下水道事業の概要

市の下水道事業では、市街地を中心に下水道管を敷設し、管理を行う『公共下水道事業』と、市街地以外の地域で希望した家庭に浄化槽を設置し、管理などを行う『個別排水処理施設事業』を行っています。

公共下水道事業には『汚水処理事業』と『雨水排水事業』があり、このうち汚水処理事業では、市民の皆さんの暮らしを衛生的に保つため、各家庭で食器洗いや、お風呂などに使った生活排水、トイレから流されるし尿などを浄化センターできれいな水に処理して川に流しています。

また、雨水排水事業では、大雨に

下水道事業は、地方自治体が経営する公営企業として、下水道使用料などの収入で経費を賄うことを基本としながら、雨水の排水など、公共性の高い事業に係る経費については、一定のルールに基づき、市税収入などからなる一般会計で負担し、経営を行っています。

今号では、平成30年度の決算状況について、お知らせします。なお、決算状況については、今後、市議会が審査を受けることとなります。

収益的収支の損益計算書 (単位：万円)

項目	収益/費用	損益
営業収益	72,891	
利用者からの下水道使用料	67,100	
一般会計からの負担金	5,780	
その他	11	
営業費用	145,761	
給与支給のための経費	6,330	
施設管理のための経費	31,671	
減価償却費	97,145	
その他	10,615	
営業損益		△ 72,870
営業外収益	115,229	
一般会計からの補助金	66,271	
長期前受金戻入	46,156	
その他	2,802	
営業外費用	30,679	
借入金に係る利息の支払	30,678	
その他	1	
経常損益		11,680
特別損益		△ 20
期間純損益		11,660

収益的収支の決算

下水道事業会計では、収入や支出の性質により、収益的収支と資本的収支に分けて経理を行っています。

収益的収支では、下水道管や浄化センターの管理に必要な支出と、利

決算の概要

よって住宅への浸水や道路冠水などが発生しないよう、雨水を川などに流すための下水道管を敷設し、管理しています。

使用者の皆さんからお支払いいただく使用料などの収入を経理しています。

収益的収支の決算額は、収入が18億8千200万円、支出が17億6千460万円となり、1億1千660万円の黒字となりました。

なお、下水道事業に関する事務経費や下水道管の維持管理などにかかる経費、下水道使用料収入などの営業活動における収支(営業損益)は、7億2千870万円の赤字であり、その他営業外活動における経費を含めた収支(経常損益)は1億1千680万円の黒字となっています。

用語解説 損益計算書：決算資料の一つで、決算額を『営業活動』と『それ以外の活動によるもの』、『その他特別な事由により発生したもの』に分類し、それぞれの収益と費用をまとめたもの。

※金額については消費税を除いています。